



物流個性
お客様のための、最適物流を。

株式会社アルプス物流 決算説明会 (2011年3月期)

2011年5月17日(火)

代表取締役社長 山崎 孝一



【証券コード: 9055】 <http://www.alps-logistics.jp/>

ALPS LOGISTICS CO., LTD.



この度の東日本大震災により、
亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、
被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。
被災地が一日も早く復興することをお祈り申し上げます。



目次

第Ⅰ部 : 2011年3月期 決算概要

第Ⅱ部 : 2011年度事業戦略

1. 電子部品関連(「電子部品物流」「商品販売」)
2. 消費物流(「流通サービス」)

第Ⅲ部 : 2012年3月期の見通し



第Ⅰ部 : 2011年3月期 決算概要

第Ⅱ部 : 2011年度事業戦略

1. 電子部品関連(「電子部品物流」「商品販売」)
2. 消費物流(「流通サービス」)

第Ⅲ部 : 2012年3月期の見通し



I. 2011年3月期

決算概要【連結】

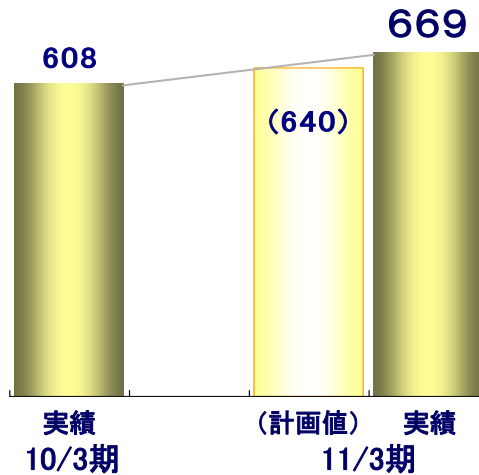
● 連結損益

震災の影響で計画未達も、増収増益を達成

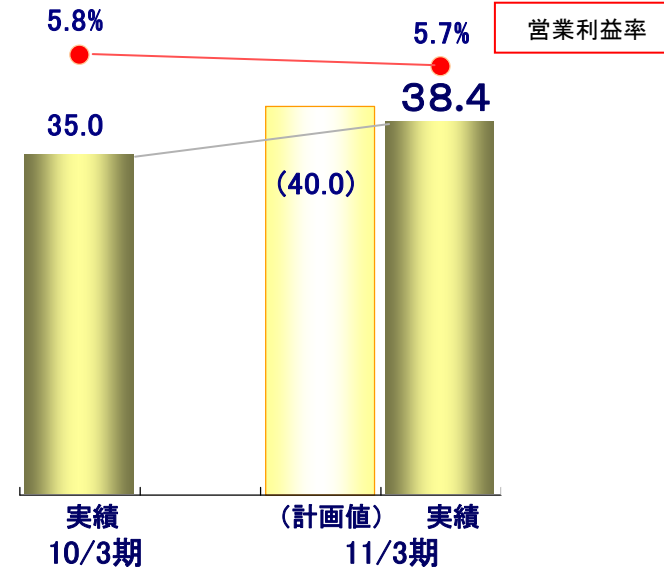
(単位:百万円)

	2010/3期	2011/3期		
	実績	実績	増減率(%)	期初計画値
売上高	60,807	66,903	10.0 %	64,000
営業利益	3,496	3,840	9.8 %	4,000
経常利益	3,634	3,817	5.0 %	4,050
当期純利益	1,845	1,630	▲ 11.7 %	1,900

● 売上高 (単位:億円)



● 営業利益 (単位:億円)





I. 2011年3月期

【東日本大震災の影響】

●地震発生からの経緯

【3/11】 岩手、宮城、福島、埼玉の7営業所が被災

東北・北関東の輸配送ネットワーク休止

災害対策本部設置

【3/13】 業務の部分再開

【3/28】 全拠点で業務を全面再開、輸配送ネットワーク正常化

●震災による業績への影響

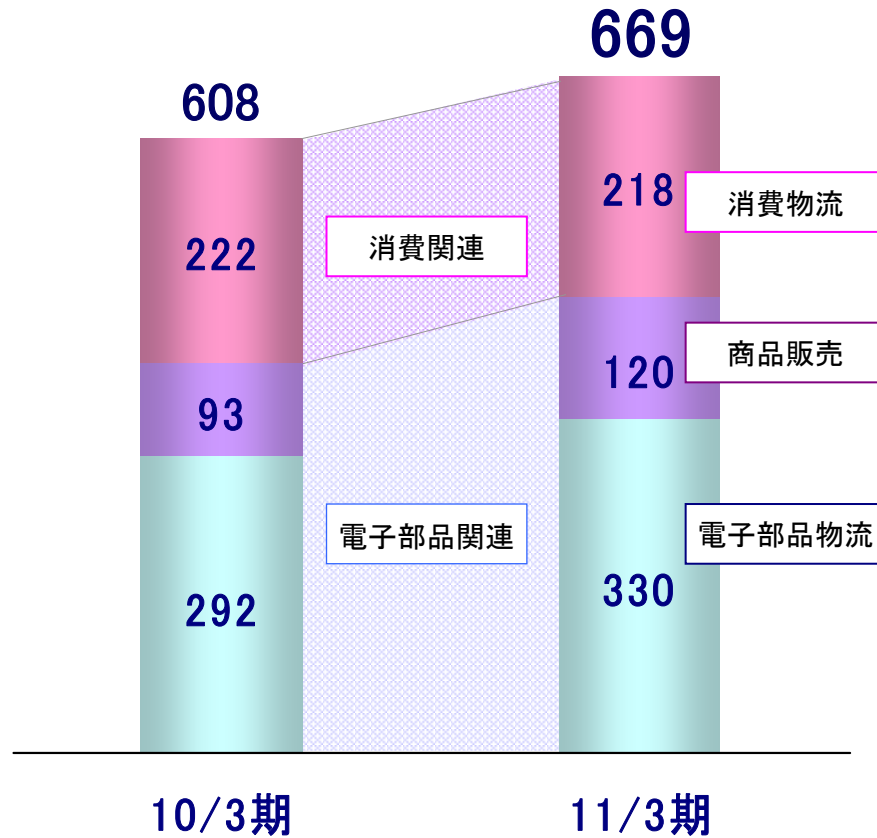
<u>項目</u>	<u>金額</u>
売上高	▲ 4.0億円
営業利益	▲ 1.5億円
特別損失	▲ 3.8億円
建物復旧等の修繕費	▲ 3.0億円
棚卸資産等の廃却損	▲ 0.3億円
休業費用、物資支援費用等	▲ 0.5億円



I. 2011年3月期

売上高【連結】

●セグメント別売上高 (単位:億円)



前期比 + 61億円 (+ 10.0%)

(円高進行による影響 前期比 ▲ 6億円)

●電子部品物流 + 38億円

- ・電子部品市況回復と拡販施策により増収
- ・海外は前上期落込み反動もあり大幅増

●商品販売 + 27億円

- ・電子部品市況回復に伴い資材の需要増
- ・デバイス販売の顧客、品目拡大が寄与

●消費物流 ▲ 4億円

- ・消費伸び悩みや生協物流再編で若干減収
- ・生協向個配事業は前期を上回る売上確保

※各セグメントの売上高は連結消去後の数値です

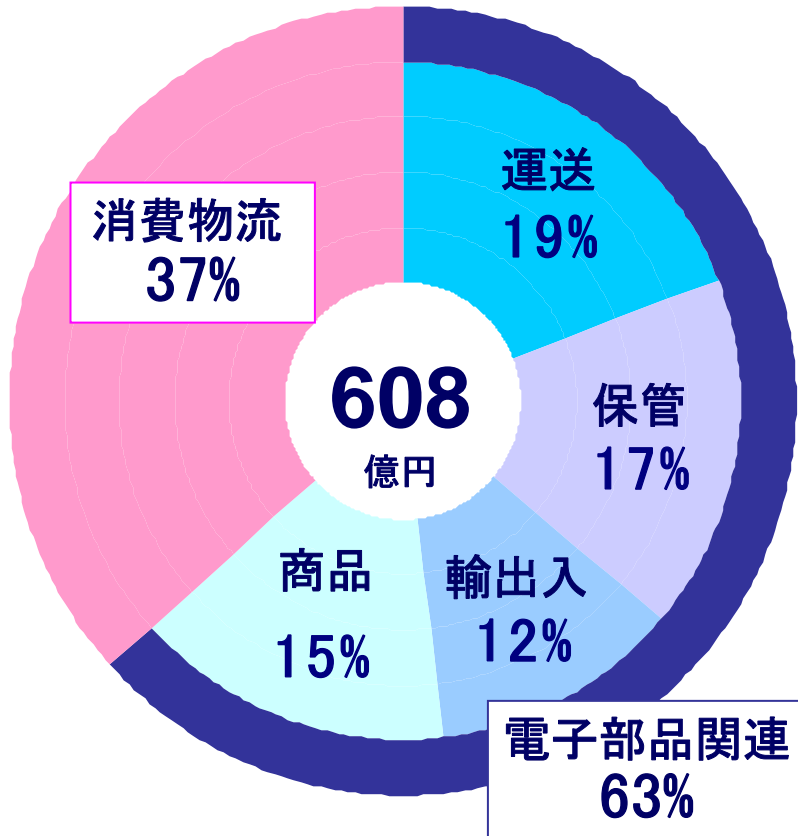


I. 2011年3月期

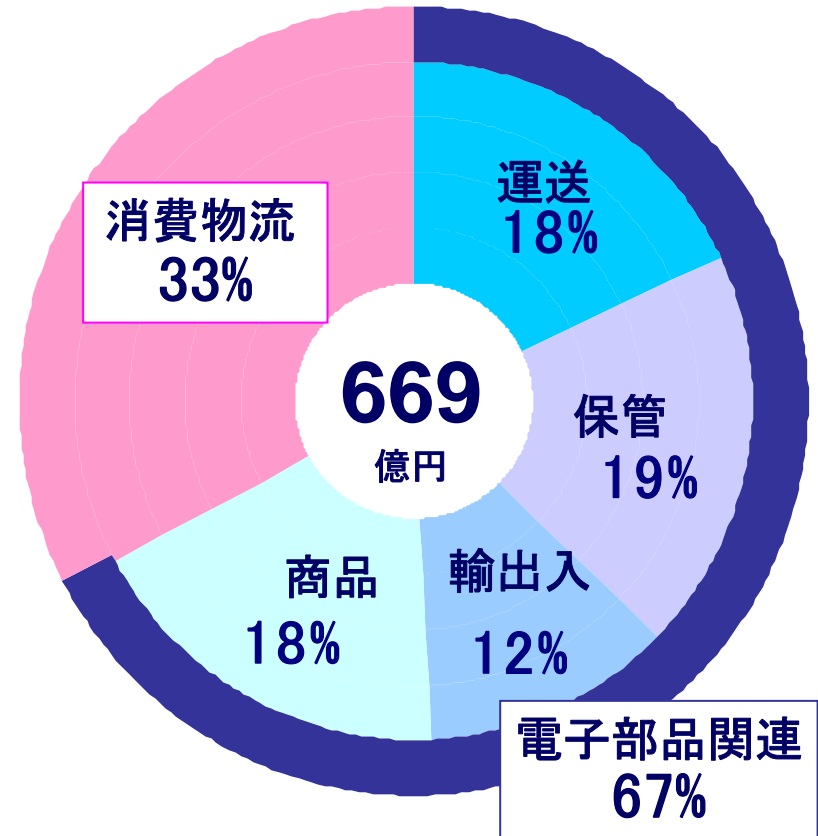
売上高【連結】

●セグメント別構成比

10/3 期



11/3 期

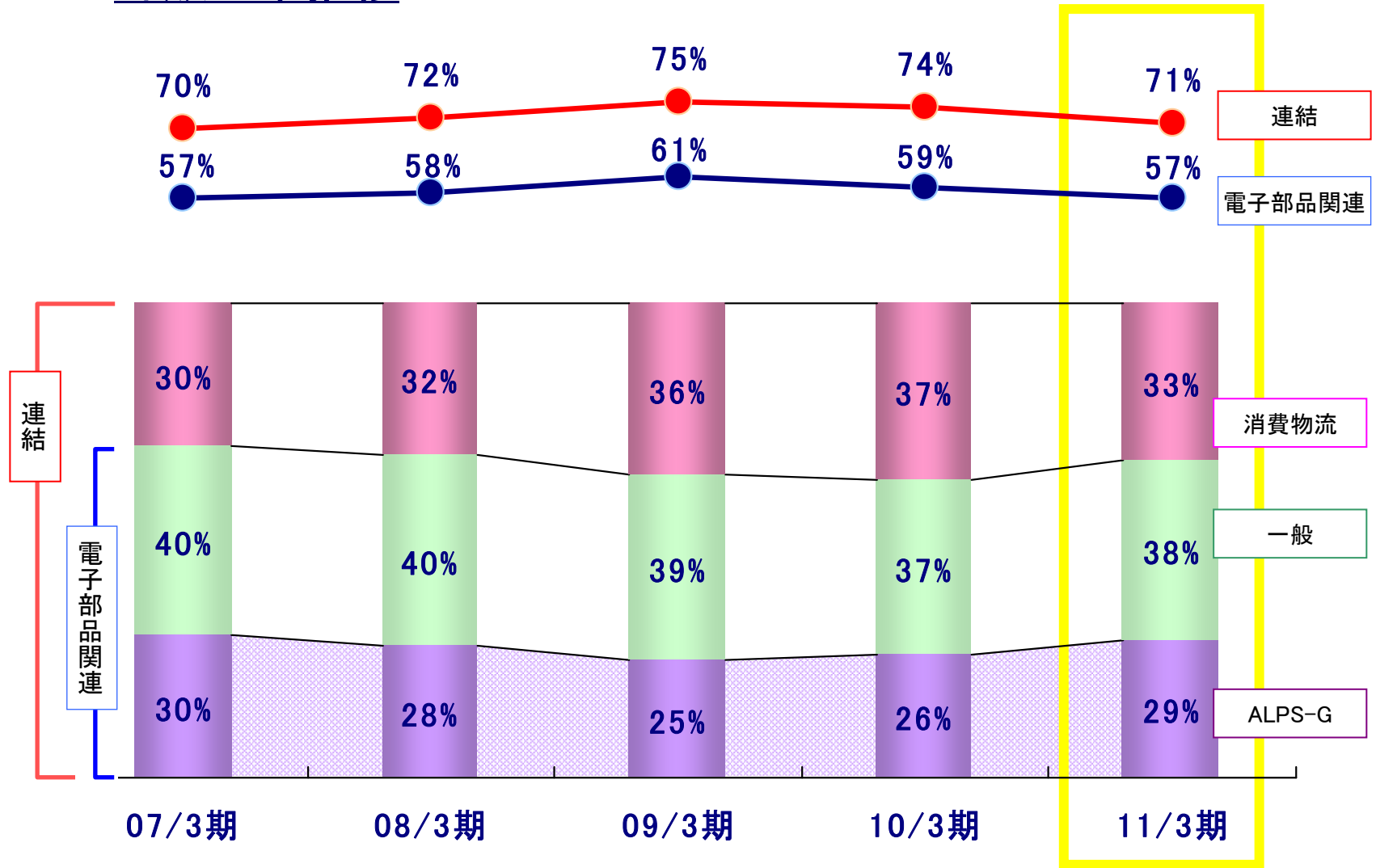




I. 2011年3月期

売上高【連結】

● 外販比率推移

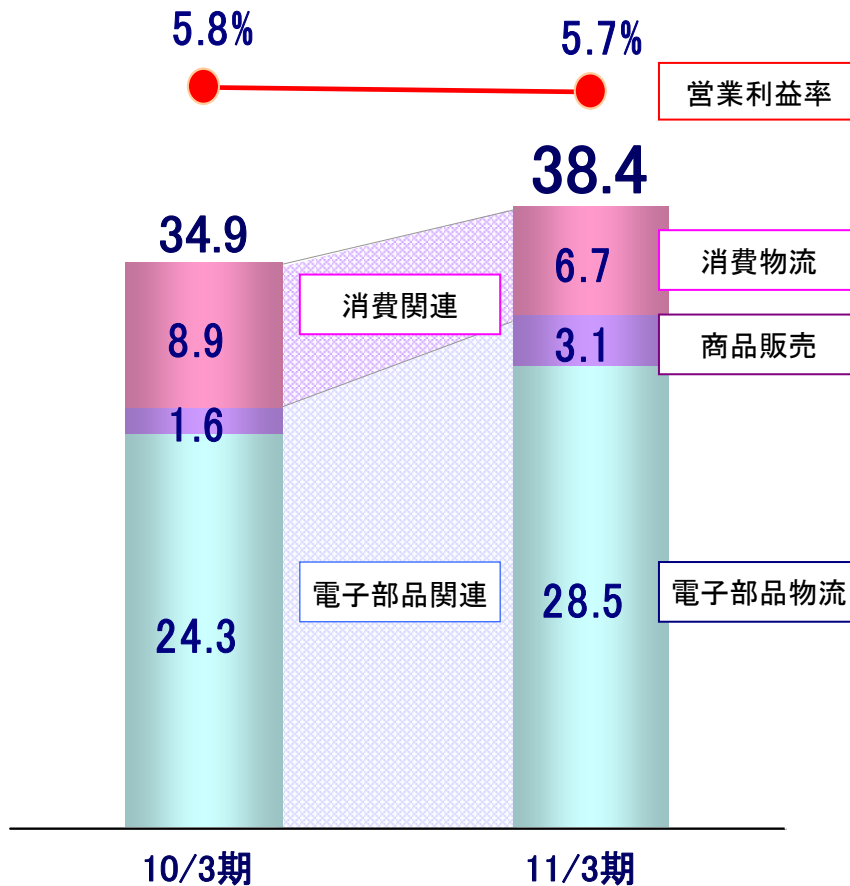




I. 2011年3月期

営業利益【連結】

●セグメント別営業利益 (単位:億円)



前期比 + 3.4 億円 (+9.8%)
 (円高進行による影響 前期比 ▲ 0.6 億円)

● **電子部品物流** + 4.1 億円
 ・需要回復と拡販推進で前期比17%増益
 ・海外は前上期の反動増収で大幅増益に

● **商品販売** + 1.5 億円
 ・資材需要の回復に伴う増収効果で増益
 ・特にデバイス販売の規模拡大が寄与

● **消費物流** ▲ 2.2 億円
 ・減収と顧客の物流再編の影響で減益に
 ・物流センター新設・増築に伴う費用も発生

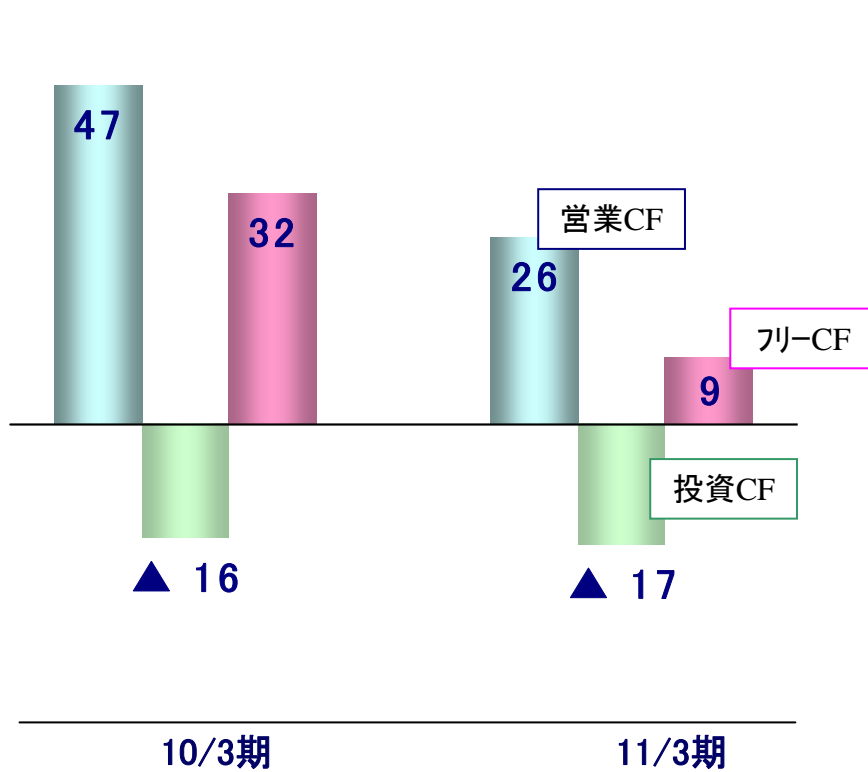
※各セグメントの営業利益は連結消去後の数値です



I. 2011年3月期

資金状況【連結】

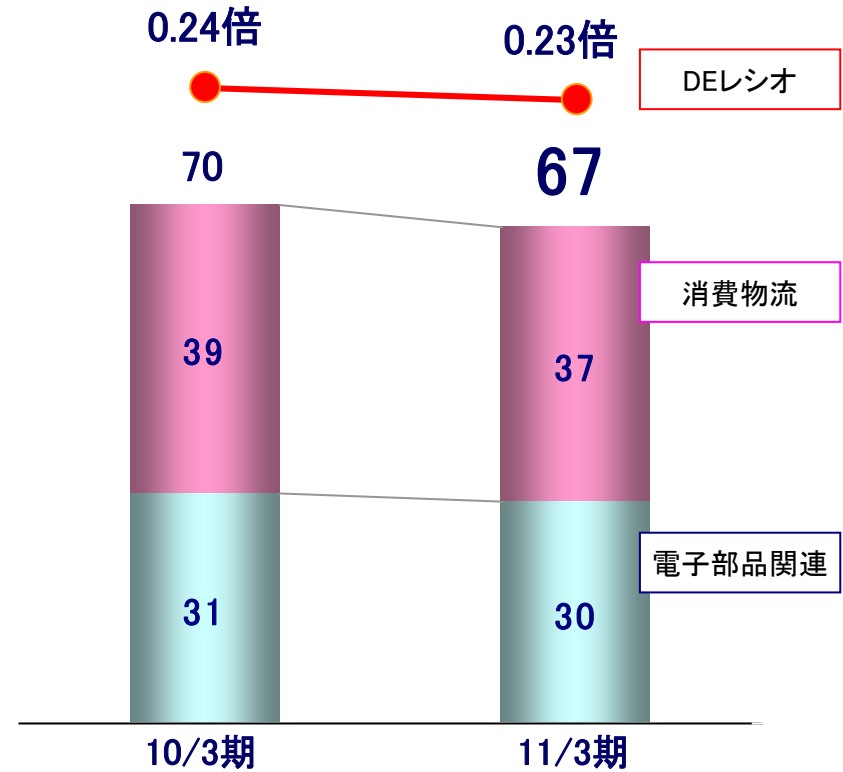
● キャッシュ・フロー (単位:億円)



● キャッシュ・フロー

- ・営業CFは納税増加、増収等で減少
- ・投資支出は倉庫投資などで17億円

● 有利子負債残高 (単位:億円)



● 有利子負債残高

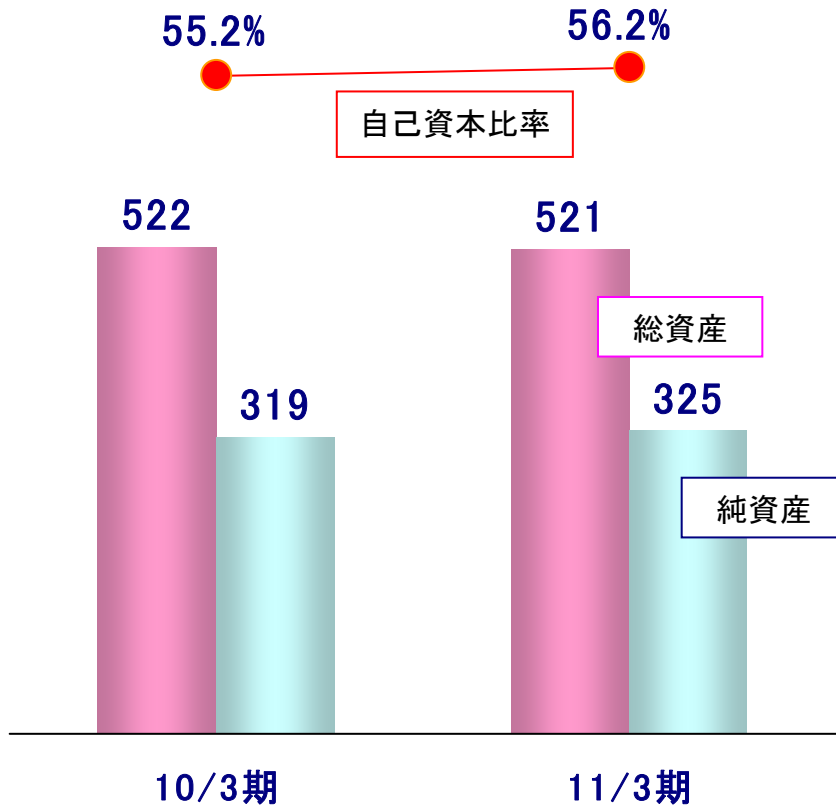
- ・前期比微減し連結ベースで67億円
- ・DEレシオは前期水準を維持し0.23



I. 2011年3月期

財務指標【連結】

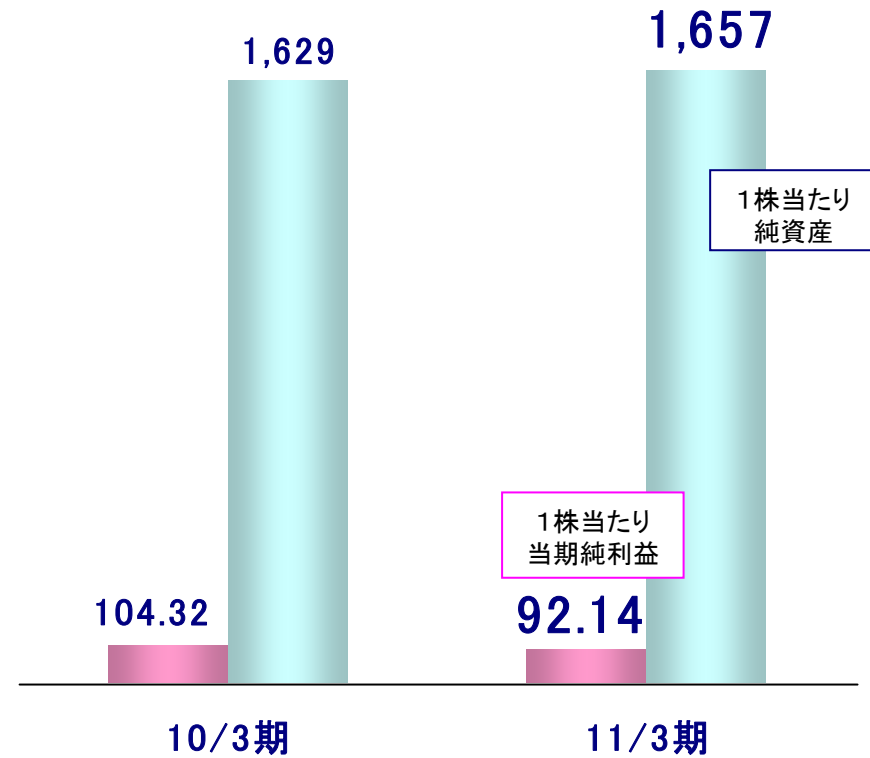
●資産状況 (単位:億円)



●資産状況

- ・総資産：大きな変動なく横ばいの521億円
- ・純資産：当期純利益確保等により+6億円

●1株当たり指標 (単位:円)



●1株当たり指標

- ・EPS：震災特損により前期比△12円
- ・BPS：利益確保などで前期比+27円



第Ⅰ部 : 2011年3月期 決算概要

第Ⅱ部 : 2011年度事業戦略

1. 電子部品関連(「電子部品物流」「商品販売」)
2. 消費物流(「流通サービス」)

第Ⅲ部 : 2012年3月期の見通し



1. 電子部品関連（「電子部品物流」「商品販売」）



電子部品市場の動向

- 電子化加速・新興国需要増(電子部品**需要の拡大**)
- 電子機器・部品の**低価格化**進展(コスト競争激化)
- **最適地生産**の見直し(部材・電力不足、リスク分散)
- 韓・台・中系部品メーカーの台頭(**グローバル競争**)
- **技術革新**の進展・加速(半導体化・モジュール化)
- **パワーエレクトロニクス**拡大(小型・高効率・高性能)

顧客の期待

- **高品質**で**高付加価値**なサービスの提供(絶対品質)
- 継続的な**物流コスト削減**(合理化・アウトソーシング)
- 最適なサプライチェーンの構築(**ネットワークの強化**)
- 供給の**フレキシビリティ**(在庫管理・リードタイム)
- **セキュリティ・コンプライアンス**強化(AEO、C-TPAT)
- 電力不足・環境保全への対応(**省電力・CO2削減**)



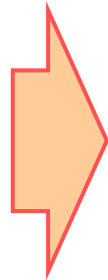
電子部品物流の動向



電子部品物流の動向

部品市場の動向

顧客の期待



物流の動向

- 取扱技術の高度化(高品質サービスの保証)
- コストパフォーマンス追求(効率・生産性向上)
- サプライチェーンの再構築(ネットワーク見直し)
- 最適地生産への対応(グローバルロジスティクス)
- サービスの多様化(運用のフレキシビリティ)
- 環境の取組み強化(グリーンロジスティクス促進)
- 物流情報システムの進化(情報の一元化・可視化)
- アウトソーシング化の傾向(コストの変動費化)
- 物流事業の効率化追求(協業・提携の検討)



2010年度に引き続き…

2011 年度

「3・E-Logistics」の推進

～「物流力No.1」への挑戦～



「ものづくりを支える最適物流」を追求し、
日本の復興と電子産業に貢献して行く

物流個性
お客様のための、最適物流を。



重点戦略

物流個性
お客様のための、最適物流を。

基本方針

「**新たな成長**」に向けて、グローバル戦略を強化する

事業方針

「**3・E - Logistics**」の推進 ～「**物流力 NO.1**」への挑戦～

重点戦略

E・nergy (成長力) **量** 新規・深耕拡販の推進

- グローバル・ネットワーク拡充
- 独自サービスの拡大

E・conomy (物流力) **質・技** 事業体質強化

- システム力で生産性向上
- 「絶対品質」の保証

E・cology (環境力) **省** グリーンロジスティクスの追求

- 省エネ・節電施策の実行
- 環境保全型サービスの提供



「物流力 No.1」への挑戦

物流力

$$P \cdot \text{物流力} = \frac{(V \cdot \text{物量} \times E \cdot \text{効率} \times A^2 \cdot \text{精度})}{T \cdot \text{時間}} \times S \cdot \text{仕組み} + Q \cdot \text{環境}$$

世界にまたがるネットワーク

拠点数

【国内】



10/3期

38



11/3期

42ヶ所

【海外】



23



26ヶ所

倉庫面積

【国内】



24



25万㎡

【海外】



16



17万㎡

トラック数

【国内】



537



567台

【海外】



239



242台



「物流力 No.1」への挑戦

物流力

$$P \cdot \text{物流力} = \frac{(V \cdot \text{物量} \times E \cdot \text{効率} \times A^2 \cdot \text{精度})}{T \cdot \text{時間}} \times S \cdot \text{仕組み} + Q \cdot \text{環境}$$

新規・深耕拡販の推進

顧客数

【国内】



10/3期

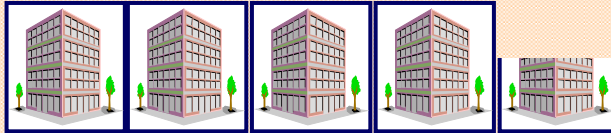
1,677



11/3期

1,767 社

【海外】



1,171



1,324 社

品目数

【国内】



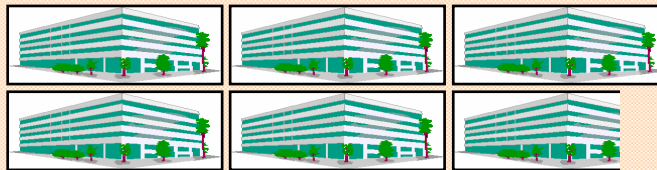
6,300



8,400 種

売上構成

【外販比率】



59



57 %

【海外比率】



24



28 %



ネットワークの拡充

量

● 顧客・物量を **たくさん** 確保する

拡充施策				FY2010				FY2011
				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
国内ネットワーク	厚木デポ新設	(神奈川県)	10年5月	新設				
	アルプス物流ファシリティース	(茨城県)	10年10月			稼動		
	北上営業所倉庫新設	(岩手県)	11年3月					新設
	小名浜営業所倉庫増築	(福島県)	11年3月					増築
海外ネットワーク	マッカレン支店増床	(米・テキサス)	10年1月	増床				
	アユタヤ倉庫新設	(タイ・アユタヤ)	10年3月	新設			増床	
	煙台支店設立	(中国・山東省)	10年4月	設立				
	台湾アルプス物流設立	(台湾・桃園県)	10年9月			設立		
	韓国アルプス物流設立	(韓国・ソウル)	11年3月					設立
	松江倉庫新設	(中国・上海市)	11年6月 (予定)					新設
	重慶支店設立	(中国・重慶市)	11年7月 (予定)					設立



電子部品物流
【重点戦略】

E・nergy【ネットワーク・力】

【国内】ネットワークの拡充 量 ● 「新規・深耕」で **たくさん** 確保





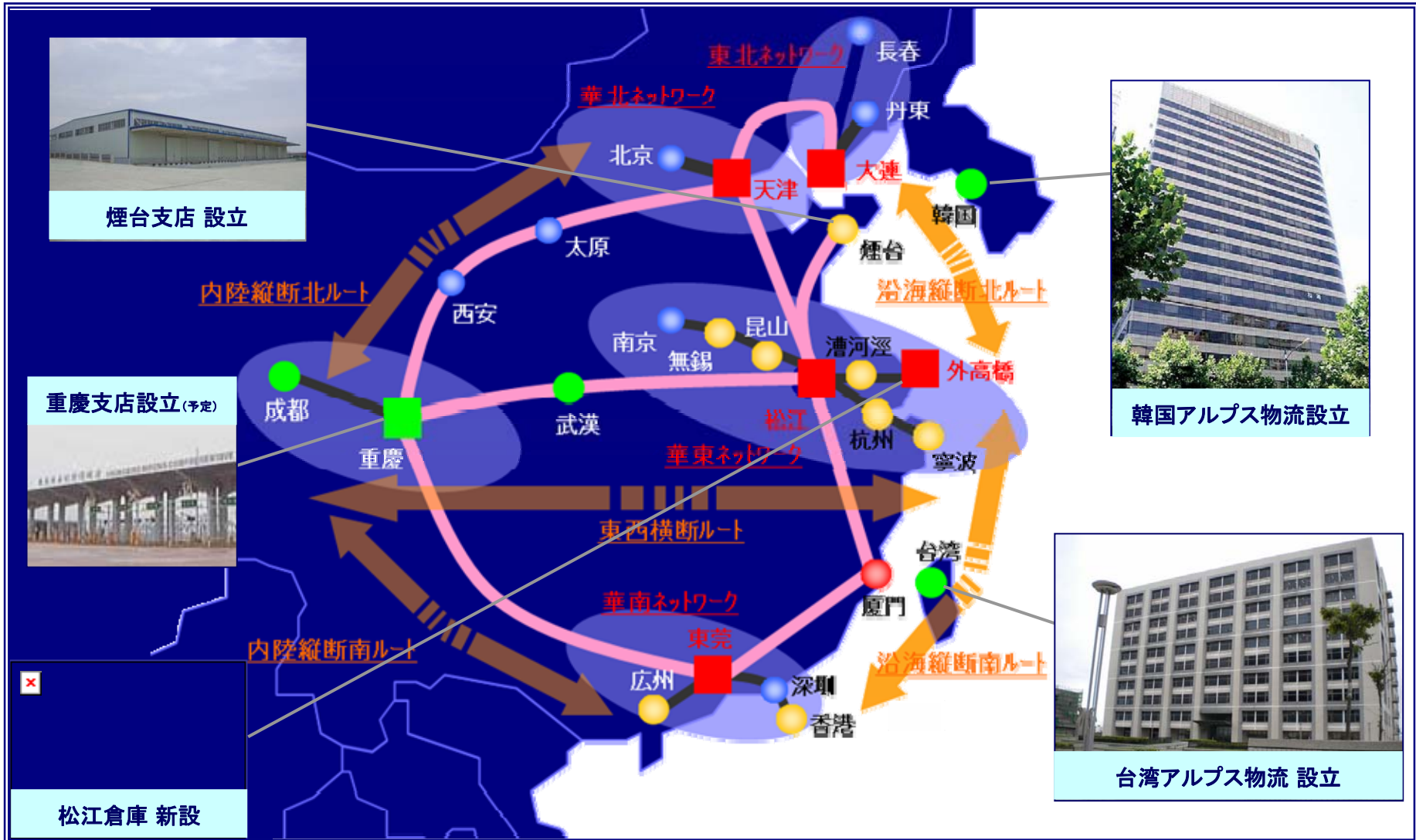
電子部品物流
【重点戦略】

E・nergy【ネットワーク・力】

【海外】ネットワークの拡充

量

● 「中」「韓」「台」で **たくさん** 確保



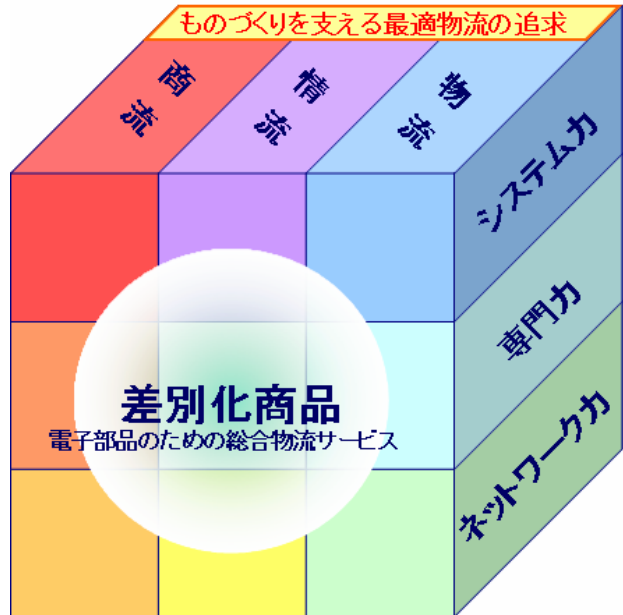


独自サービス拡大

量

● 物流 商流 情流 で たくさんのサービス

強みを生かした高付加価値サービス



Global One Channel Service

運送	特快便	共同配送	ミルクラン	..
	定時定ルート	モーダルシフト	設備移動	..
	⋮	⋮	⋮	
保管	温湿度管理	検査代行	共同保管	..
	細部品分割	静電対策	在庫情報	..
	⋮	⋮	⋮	
輸出入	バイヤースコンソリ	非居住者	A E O	..
	N V O C C	輸出加工区	C - T P A T	..
	⋮	⋮	⋮	
資材	包装資材	デバイス販売	調達代行	..
	成形材料	包装設計	環境保全	..
	⋮	⋮	⋮	

商品力で物量拡大



E・conomy【システム・力】

自社システム

技

生産性の向上

質

● 独自の仕組みで **かんたん** に **質** を創る

● **技** で **うま** く **ただ** し く **は** や く や る

運用統合システム



KPI (評価指標)





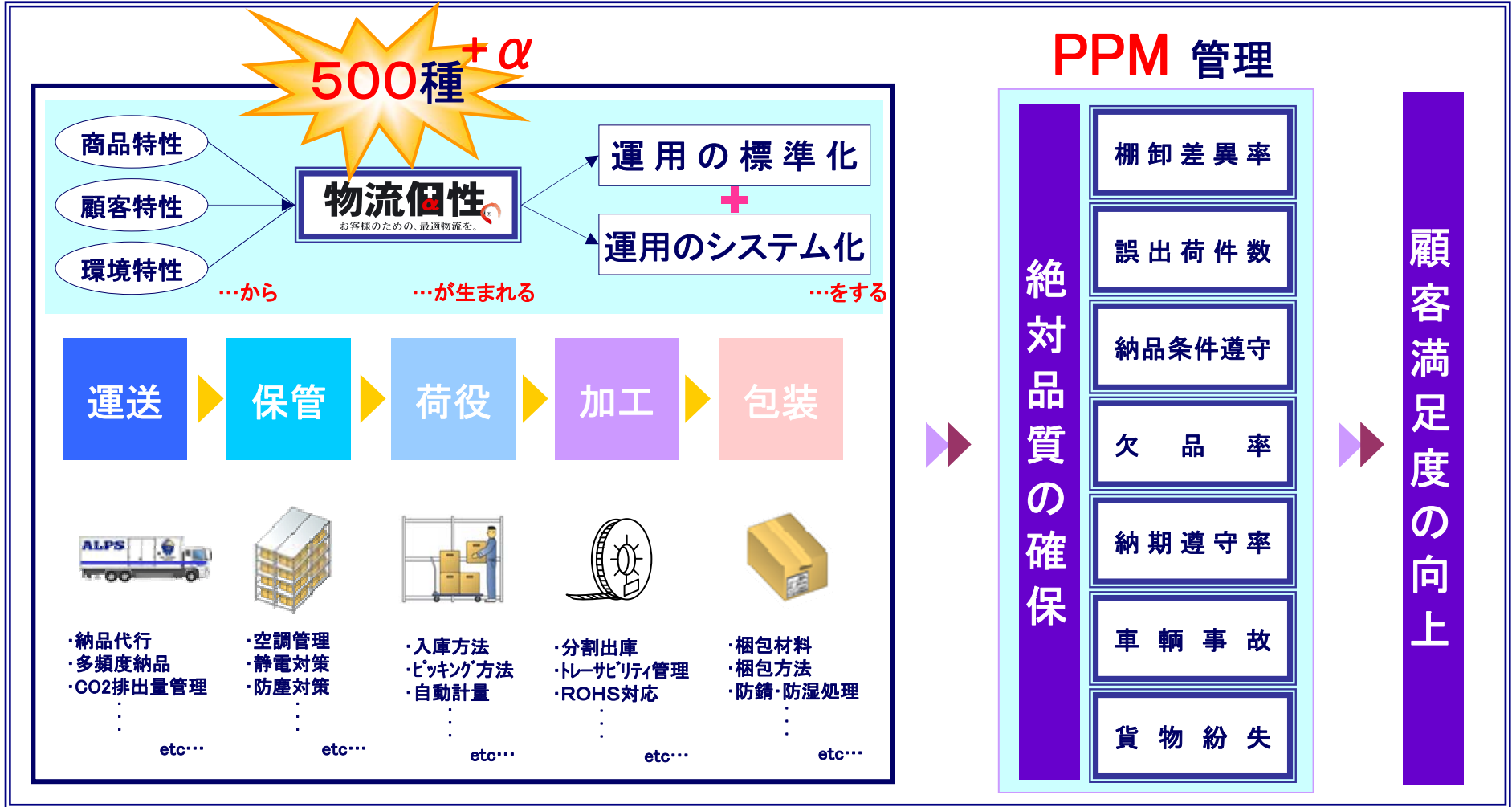
「絶対品質」の保証

質 技



物流個性
お客様のための、最適物流を。

の運用で **ただしく** なる





グリーンロジスティクス

省

- 物流力で地球に **やさしく**
- ピーク時電力使用量 目標 **25%** 削減

重点管理項目	[国内]	11年度目標 (10年度比)	14年度目標 (06年度比)
CO2排出量 ・エコドライブの遵守 ・輸送効率の改善		1% 減	10% 削減
エネルギー使用量 ・エリア毎点灯管理 ・省エネタイプの設備		10% 減	10% 削減
廃棄物排出量 ・リデュース・リユース ・通い箱導入等の提案		+0	+0
リサイクル率 ・廃棄物分別徹底 ・有価物処理化を促進		75%	100%

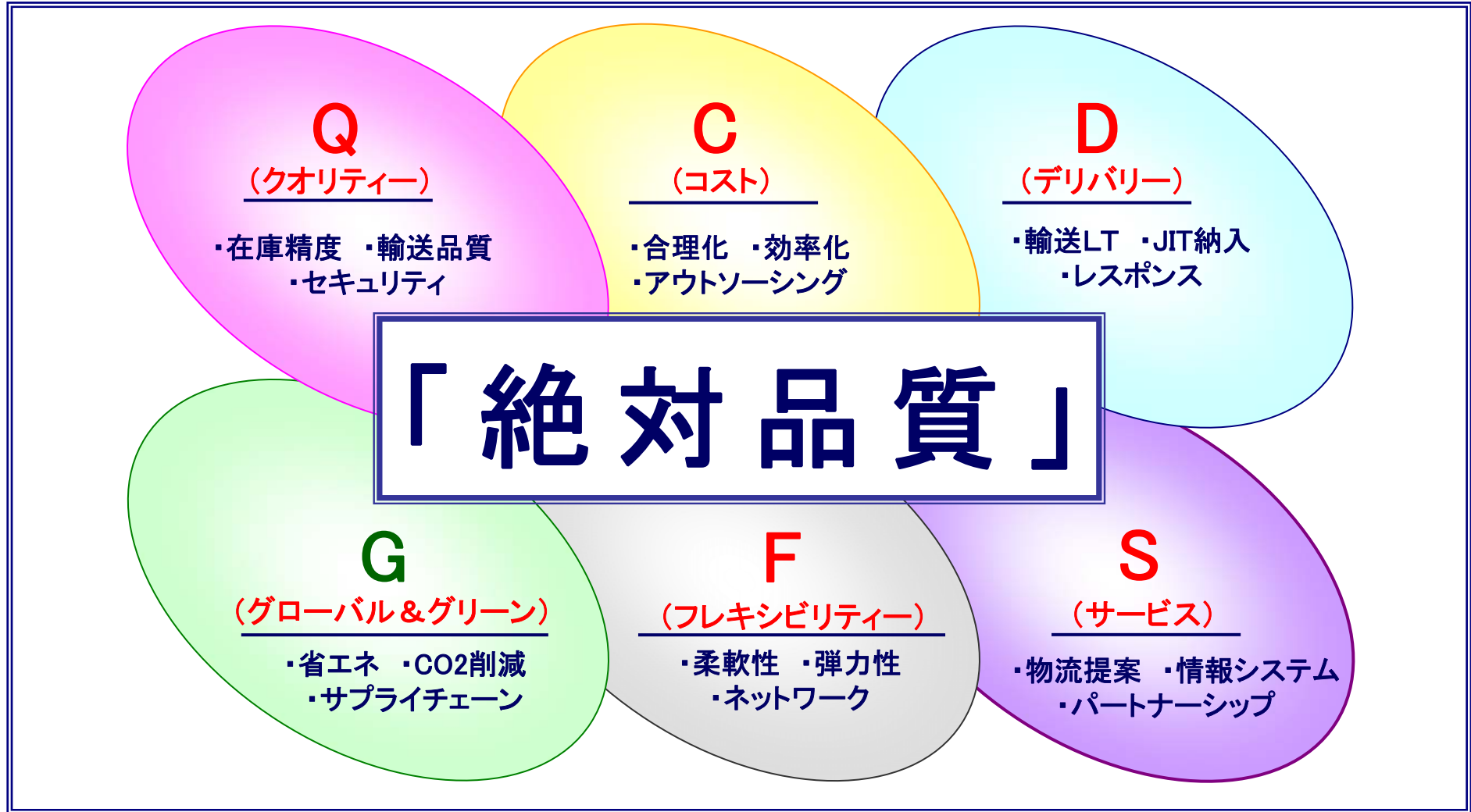


「絶対品質」で「新たな成長」

高付加価値・高信頼

量 質 技 省

●「絶対品質」で顧客ニーズ実現



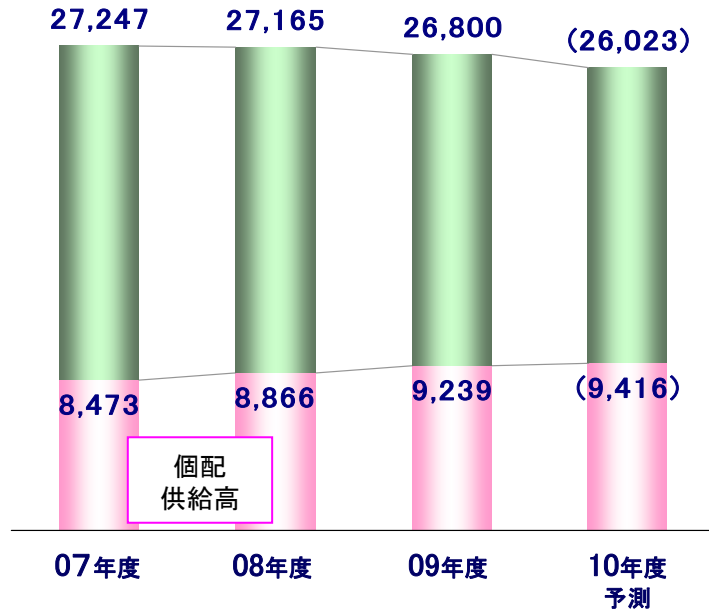


2. 消費物流 (「流通サービス」)



●地域生協の「事業高」推移

(単位:億円)



(出所:日本生協連、10年度当社予測)

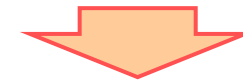


事業動向(生協関連)

- 組合員数増も**総事業高減少**
- **個配は伸長継続**(前年比+2%)
- 主要生協の**合併・合理化進展**

顧客の期待

- **サプライチェーンの安定**
- **品質・安全の保証徹底**
- **継続的物流コストの削減**



消費物流の動向

- 合併・合理化による**物流再編**
- 再編による**競争激化**
- 通販・小売業の**個配増加**



基本方針

消費物流に特化し、地域社会の中で、消費者の暮らしに貢献する

事業方針

「業務品質 No.1」の「競争力」を持った総合物流企業を目指す

重点戦略

業務品質の更なる向上 **質**・**省**

- 「業務品質向上」と「安全第一の推進」
- 「流通総合マネジメント・システム」の活用

事業体質・コスト力改善 **質**・**技**

- 新物流センターの拡販・稼働率上昇
- 「ローコスト運営」と「生産性の向上」

新ビジネスモデル確立 **技**・**量**

- 「次世代型宅配事業」(ネットスーパー等)
- 独自性のある「3PL事業」の推進



消費物流

地域別拠点の状況



拠点数



117 → **114**ヶ所
(新設 4、閉鎖 ▲7)

倉庫面積



22 → **21**万㎡

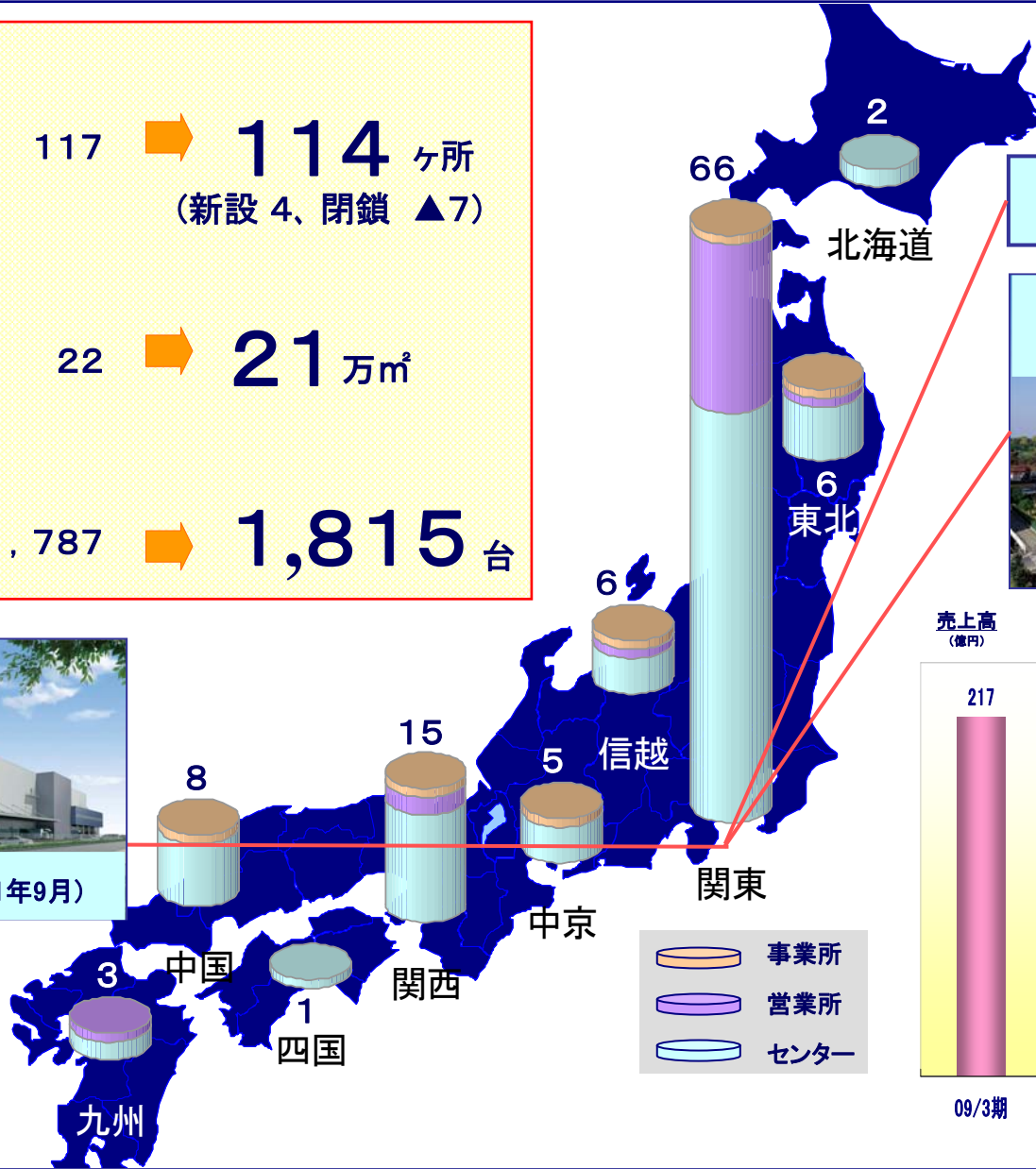
トラック台数



1,787 → **1,815**台



八潮 BC 開設(11年9月)

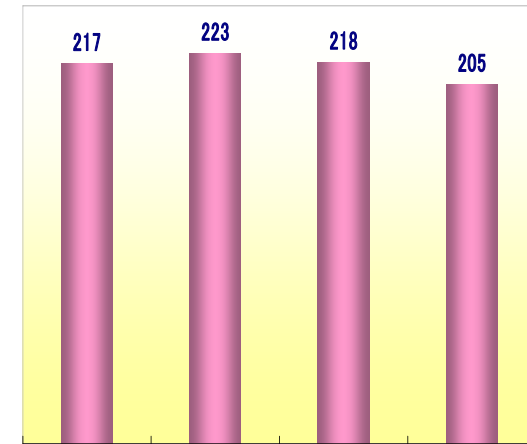


新桶川 BC 開設(10年4月)

騎西 BC 開設(10年4月)



売上高 (億円)



09/3期 10/3期 11/3期 12/3期計画



第Ⅰ部 : 2011年3月期 決算概要

第Ⅱ部 : 2011年度事業戦略

1. 電子部品関連(「電子部品物流」「商品販売」)
2. 消費物流(「流通サービス」)

第Ⅲ部 : 2012年3月期の見通し



Ⅲ. 2012年3月期
【通期見通し】

業績の見通し【連結】

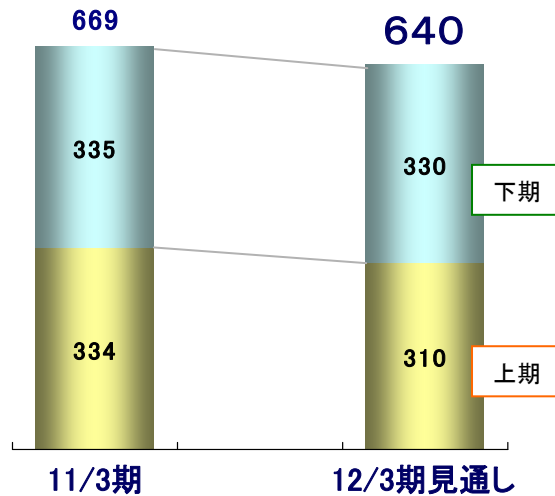
●連結損益

震災での上期物量減を想定し前期比減収減益の見通し

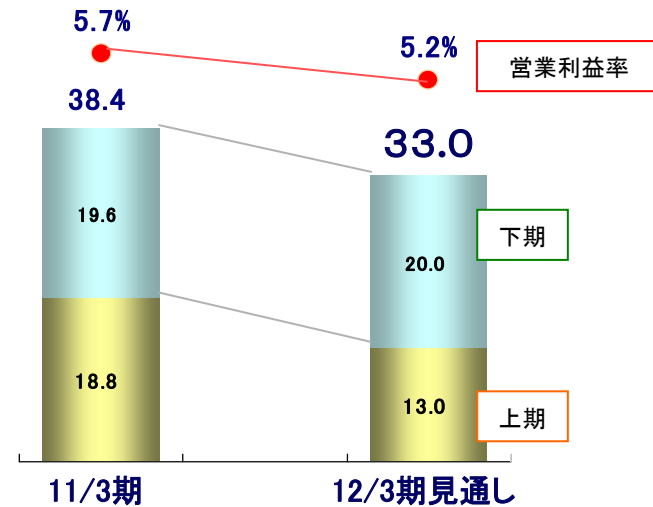
(単位:百万円)

	2011/3期		2012/3期		
	実績	構成比(%)	計画	構成比(%)	増減率(%)
売上高	66,903	100.0 %	64,000	100.0 %	▲ 4.3 %
営業利益	3,840	5.8 %	3,300	5.2 %	▲ 14.1 %
経常利益	3,817	5.7 %	3,350	5.2 %	▲ 12.2 %
当期純利益	1,630	2.4 %	1,600	2.5 %	▲ 1.8 %

●売上高 (単位:億円)



●営業利益 (単位:億円)

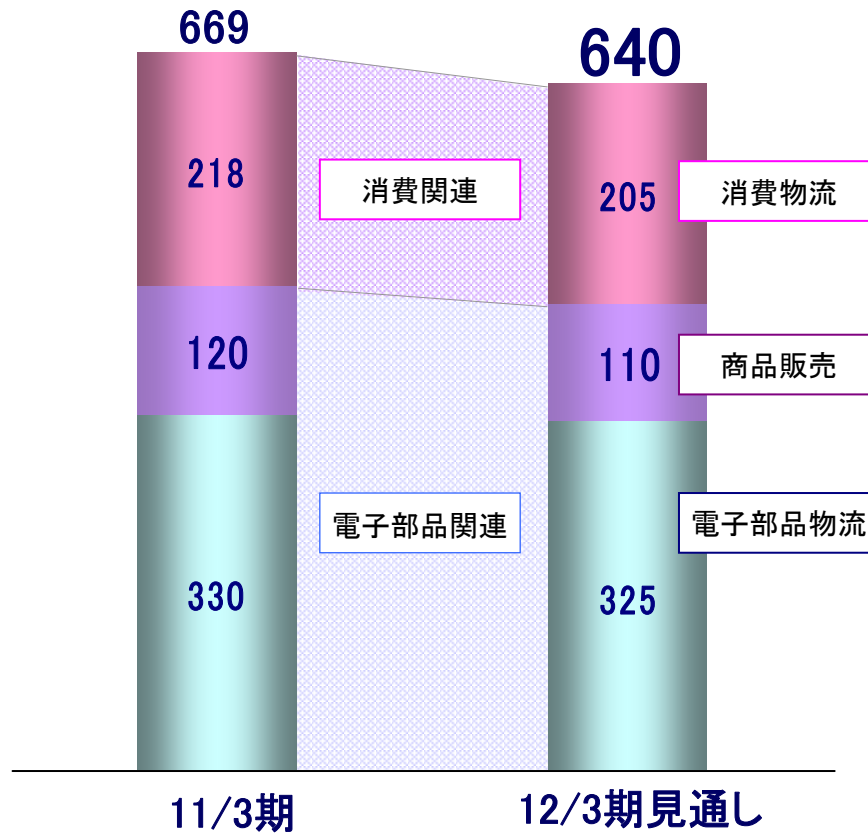




売上高【連結】

●セグメント別売上高の見通し

(単位:億円)



前期比 ▲29 億円 (▲ 4.3 %)

●電子部品物流 ▲ 6 億円

- ・国内は上期物量減、下期は前期並の計画
- ・海外もサプライチェーン停滞あるも増収見込む

●商品販売 ▲ 10 億円

- ・顧客の生産動向の不透明感強く需要減少
- ・デバイス販売の拡販も一巡し、減収計画

●消費物流 ▲ 13 億円

- ・震災に伴う景気、消費低迷で物量伸び悩み
- ・顧客の物流合理化、再編ニーズが更に加速

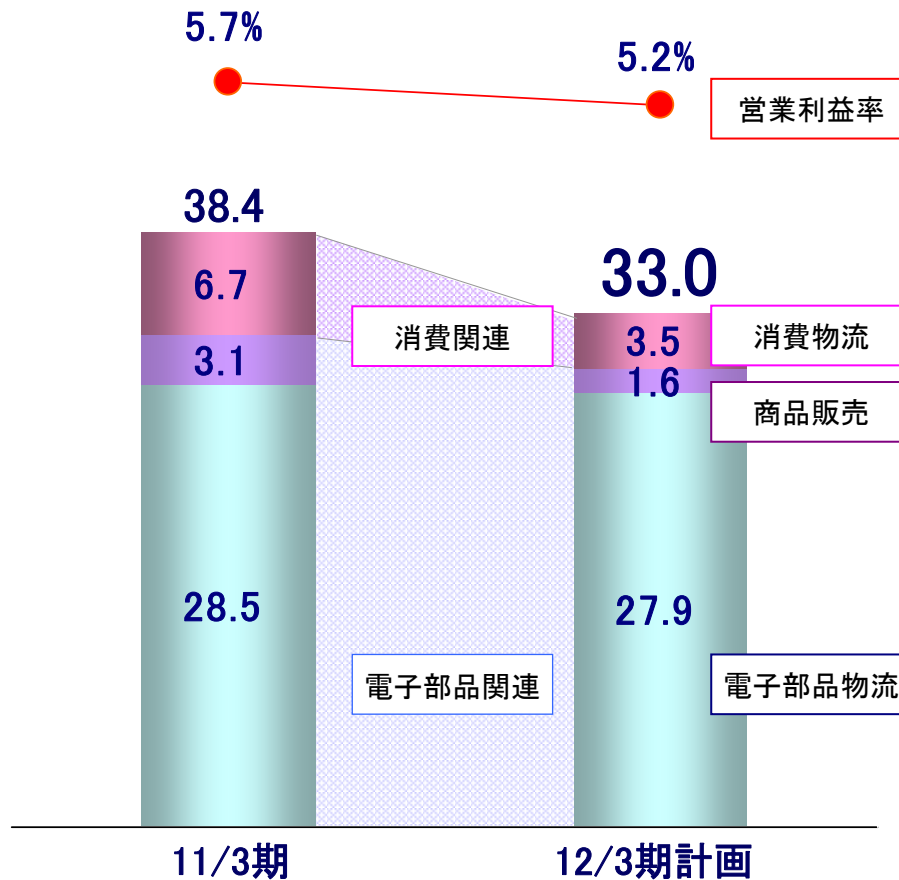
※各セグメントの売上高は連結消去後の数値です



営業利益【連結】

●セグメント別営業利益の見通し

(単位:億円)



前期比 ▲5.4 億円 (▲ 14.1 %)

●電子部品物流 ▲ 0.6 億円

- ・国内の震災に伴う減収の影響により減益
- ・海外は新拠点立上げ費用あるも増益計画

●商品販売 ▲ 1.5 億円

- ・需要不透明による減収見通しに伴い減益に
- ・下期はサプライチェーン正常化により回復傾向

●消費物流 ▲ 3.2 億円

- ・消費低迷等による減収が影響し減益見通し
- ・新物流センター(八潮BC)の開設費用も発生

※各セグメントの営業利益は連結消去後の数値です

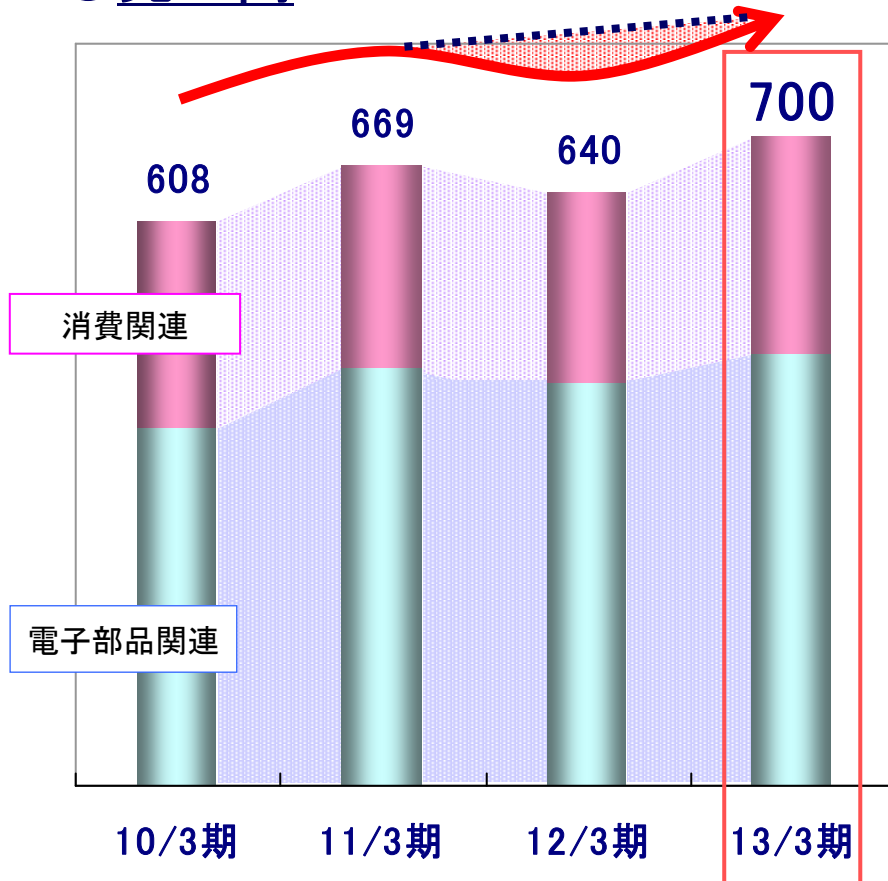


Ⅲ. 2012年3月期
【通期見通し】

中期目標【連結】

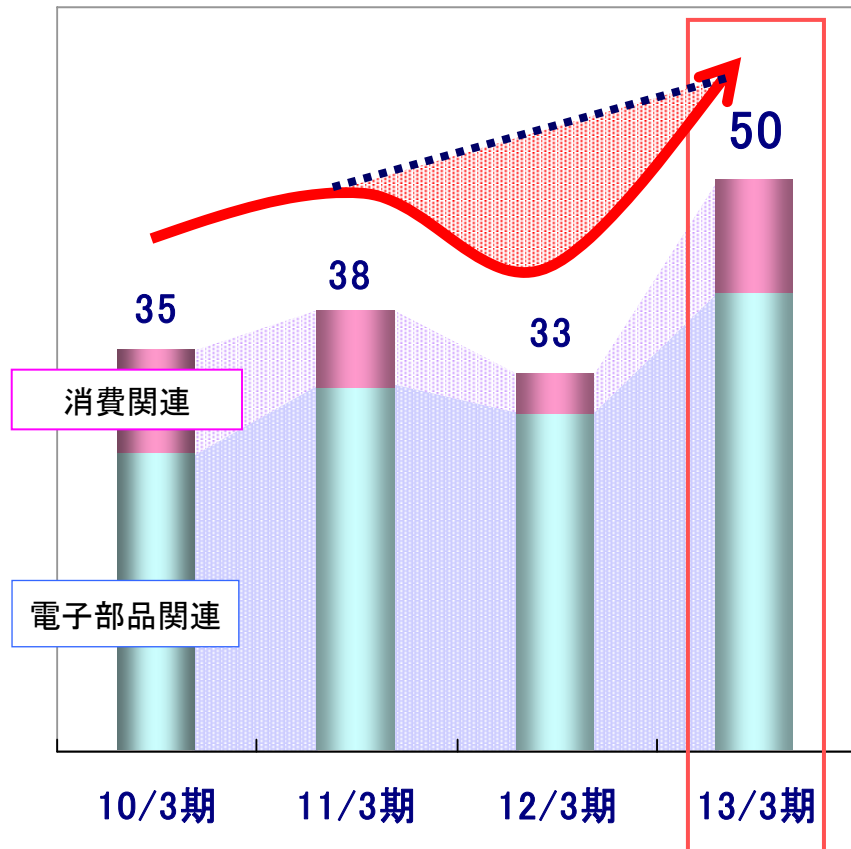
2012年度の中期目標は変更せず

●売上高



●営業利益

(単位:億円)



電子部品関連

【外販比率】 57 % (2011/3期) → **65 %** (2013/3期)

【海外比率】 28 % (2011/3期) → **35 %** (2013/3期)

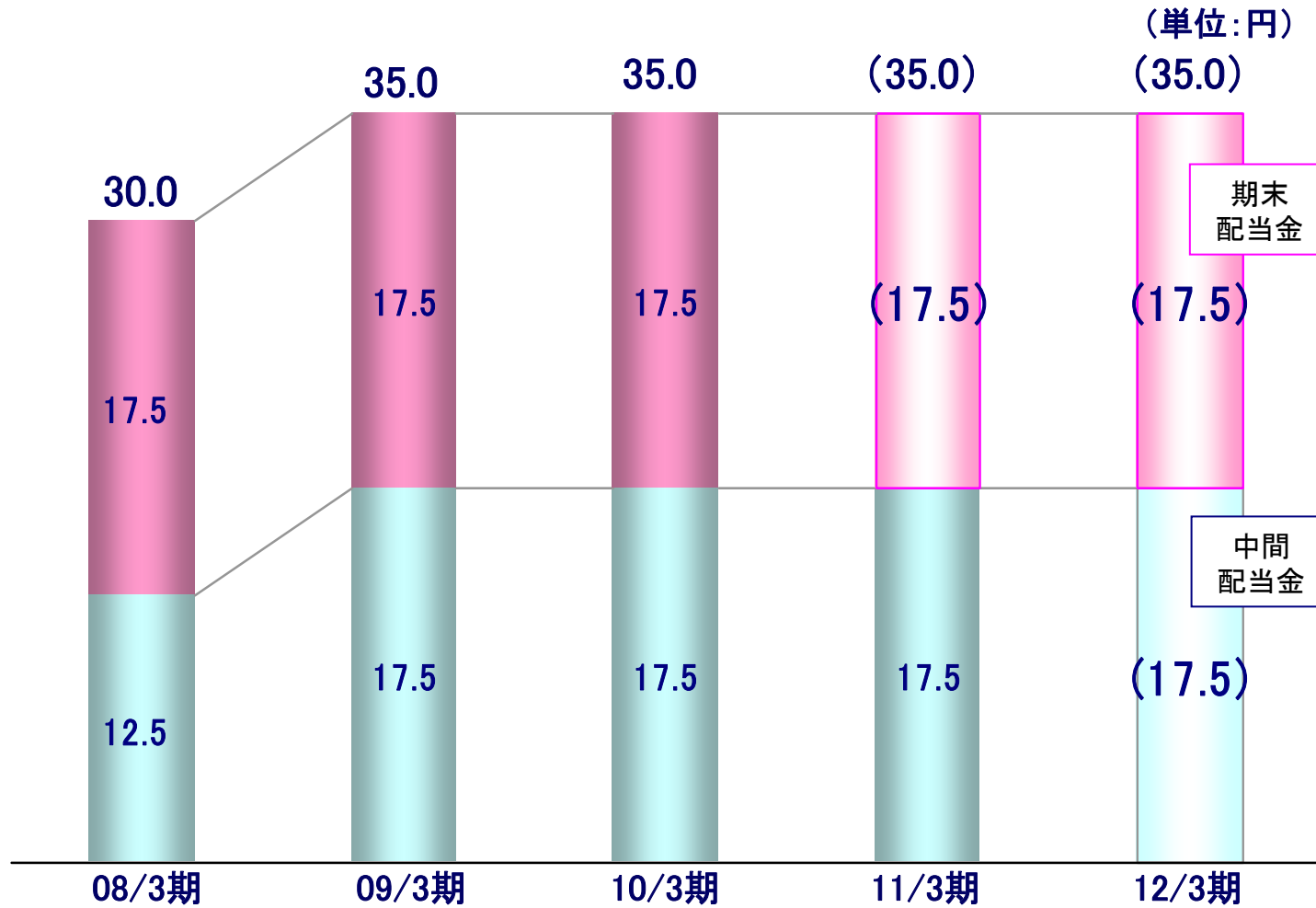


Ⅲ. 2012年3月期
【通期見通し】

配当計画

● 1株当たり配当

安定配当を継続





お客様のための最適物流を提案します

——— 5つの約束 ———

- ① 100%物流品質・安全を目指します
- ② 99.9%以上の在庫精度を守ります
- ③ 最適時間(リードタイム)で運用します
- ④ 継続的な物流の合理化に貢献します
- ⑤ グリーンロジスティクスを推進します



注意：

本資料に記載された業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでいます。

実際の業績等は、業況の変化等により、記載されている予想数値と異なる場合があります。

また、本資料は会計監査対象外となっています。